

## 成人看護学演習 I

|              |                        |        |                       |
|--------------|------------------------|--------|-----------------------|
| 責任者・コーディネーター | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 特任准教授 |        |                       |
| 担当講座・学科(分野)  | 共通基盤看護学講座              |        |                       |
| 対象学年         | 2                      | 区分・時間数 | 講義 6 時間<br>演習 16.5 時間 |
| 期 間          | 前期                     |        |                       |
| 単 位 数        | 1 単位                   |        |                       |

### ・学習方針（講義概要等）

演習やグループワークを通して、成人期における健康障害をもった対象者の経過事例を用いて問題解決能力を養い、対象の状況にあった適切な看護技術や看護援助の実際を体験により学ぶ。また、学修した知識を看護実践に統合し活用する力を身に付ける。

### ・教育成果（アウトカム）

成人慢性期看護をするうえで必要な概念・理論を学修することにより、慢性疾患をもつ人と家族の特徴が理解でき患者家族が抱える問題点を解決するための問題解決能力を養う。また、慢性疾患をもちながら生きる人と家族を支える看護を学び、生活者としての視点をもったセルフマネジメント及び生活の立て直しに必要な看護援助が説明できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7

### ・到達目標（SBO）

1. 慢性の病とともに生きる人々とその家族を包括的にアセスメントする方法を考案できる。
2. アセスメントを統合して対象の全体像を理解し看護問題を明らかにすることができる。
3. 成人期の慢性疾患患者の看護問題に対して看護目標を設定し看護過程の展開ができる。
4. 演習を通して慢性期看護に必要な看護援助が理解でき、指導のもと安全に実践できる。
5. 成人を対象とした健康教育の方法を学び、ケアにいかすことができる。
6. 病気や障がいと共に生きること、死に至る経過について自分の考えを述べることができる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義・演習】

| 月日  | 曜日 | 時限 | 講座(学科)    | 担当教員                                 | 授業内容/到達目標   |
|-----|----|----|-----------|--------------------------------------|---|
| 6/2 | 木  | 3  | 共通基盤看護学講座 | 佐藤 奈美枝 特任准教授                         | <p>演習ガイダンス</p> <p>慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性期にある患者の情報から、アセスメントの視点と方法について説明することができる。</li> </ul> <p>【事前学修】<br/>成人看護学方法論 I の講義資料を復習する (60 分)</p> <p>【事後学修】<br/>慢性期にある患者のアセスメントの視点についてまとめる (60 分)</p>              |
| 6/3 | 金  | 1  | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開②<br/>(ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習を通して対象者の強みを捉えることができる</li> <li>慢性期にある患者の強みについて考察する意義を述べることができる</li> </ul> <p>【事前学修】<br/>事前に配付する資料を復習する (60 分)</p> <p>【事後学修】<br/>慢性期にある患者の強みについて考察する意義をまとめる (60 分)</p> |

|     |   |   |           |                                      |   |
|-----|---|---|-----------|--------------------------------------|---|
| 6/7 | 火 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>糖尿病看護の実践①<br/>(フットケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病看護におけるフットケアの意義、特徴を説明することができる</li> <li>・足の観察から、対象の生活を聞くことができる</li> <li>・足の観察、爪切り、爪へのやすりのかけ方が指導のもと安全に実践できる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>事前に配付するフットケアに関する資料を復習する (60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>糖尿病看護におけるフットケアを実践するためのポイントをまとめる (60分)</p> |
| 6/7 | 火 | 4 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>糖尿病看護の実践①<br/>(フットケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病看護におけるフットケアの意義、特徴を説明することができる</li> <li>・足の観察から、対象の生活を聞くことができる</li> <li>・足の観察、爪切り、爪へのやすりのかけ方が指導のもと安全に実践できる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>事前に配付するフットケアに関する資料を復習する (60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>糖尿病看護におけるフットケアを実践するためのポイントをまとめる (60分)</p> |

|     |   |   |           |   |  |
|-----|---|---|-----------|---|--|
| 6/9 | 木 | 3 | 共通基盤看護学講座 | <p>三浦 幸枝 教授<br/> 佐藤 奈美枝 特任准教授<br/> 伊藤 奈央 講師</p> | <p>糖尿病看護の実践②<br/> (インスリン自己注射、自己血糖測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる</li> <li>・自己血糖測定、インスリン自己注射の手順を説明できる</li> <li>・人工皮膚を使用したインスリン自己注射を根拠に基づいて実施できる</li> <li>・感染と安全に配慮して自己血糖測定やインスリン自己注射指導ができる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/> 成人看護方法論Ⅰ「慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護」の講義資料を復習する(60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/> 自己血糖測定およびインスリン自己注射について指導するためのポイントをまとめる(60分)</p> |
| 6/9 | 木 | 4 | 共通基盤看護学講座 | <p>三浦 幸枝 教授<br/> 佐藤 奈美枝 特任准教授<br/> 伊藤 奈央 講師</p> | <p>糖尿病看護の実践②<br/> (インスリン自己注射、自己血糖測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる</li> <li>・自己血糖測定、インスリン自己注射の手順を説明できる</li> <li>・人工皮膚を使用したインスリン自己注射を根拠に基づいて実施できる</li> <li>・感染と安全に配慮して自己血糖測定やインスリン自己注射指導ができる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/> 成人看護方法論Ⅰ「慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護」の講義資料を復習する(60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/> 自己血糖測定およびインスリン自己注射について指導するためのポイントをまとめる(60分)</p> |

|      |   |   |           |                                      |  |
|------|---|---|-----------|--------------------------------------|--|
| 6/16 | 木 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | 慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開③<br>(グループワーク)<br><br>・提示された事例を通して情報収集、アセスメント、看護上の問題点を抽出できる<br><br><b>【事前学修】</b><br>提示された事例の看護過程について個人でまとめる (60分)<br><b>【事後学修】</b><br>事例発表会にむけた準備を行う (60分以上)               |
| 6/16 | 木 | 4 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | セルフマネジメント支援の実際①<br>(グループワーク)<br><br>・提示された事例に必要なセルフマネジメント支援について説明できる<br><br><b>【事前学修】</b><br>成人看護学概論「健康障害をもつ成人にかかわる基本的な視点へ」の講義資料を熟読する (60分)<br><b>【事後学修】</b><br>セルフマネジメント支援を行うためのポイントをまとめる (60分) |
| 6/20 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | セルフマネジメント支援の実際②<br>(ロールプレイ)<br><br>・ロールプレイを通し、セルフマネジメントを支援する看護方法について説明することができる<br><br><b>【事前学修】</b><br>グループワークでまとめた内容について復習する (60分)<br><b>【事後学修】</b><br>ロールプレイの内容を振り返り修正点についてまとめる (60分)          |

|      |   |   |           |                                      |   |
|------|---|---|-----------|--------------------------------------|---|
| 6/20 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>セルフマネジメント支援の実際②<br/>(ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロールプレイを通し、セルフマネジメントを支援する看護方法について説明することができる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>グループワークでまとめた内容について復習する (60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>ロールプレイの内容を振り返り修正点についてまとめる (60分)</p>   |
| 6/27 | 月 | 2 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開④<br/>事例発表会 (示説)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護過程の展開を共有し、必要な看護について理解を深めることができる</li> <li>・ 発表や意見交換を通して自分の考えを伝えることができる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>他のグループが担当している疾患およびその看護についてまとめる (60分)</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>発表会の内容を振り返り、疾患の看護のポイントについてまとめる (60分)</p> |

|      |   |   |           |                                      |   |
|------|---|---|-----------|--------------------------------------|---|
| 6/27 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | 慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開④<br>事例発表会（示説）<br><br>・看護過程の展開を共有し、必要な看護について理解を深めることができる<br>・発表や意見交換を通して自分の考えを伝えることができる<br><br>【事前学修】<br>他の事例の疾患およびその看護についてまとめる（60分）<br>【事後学修】<br>発表会の内容を振り返り、疾患の看護のポイントについてまとめる（60分） |
| 6/30 | 木 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 伊藤 奈央 講師                             | 終末期における患者・家族への看護援助①<br>（喪失体験シミュレーション）<br><br>・喪失体験のシミュレーションを通して自らの死生観を考え、終末期における患者・家族への看護について説明できる<br><br>【事前学修】<br>事前に配布する学修用紙についてまとめる（60分）<br>【事後学修】<br>自分自身の死生観についてレポートにまとめ提出する（60分以上）                   |

|      |   |   |           |                                      |  |
|------|---|---|-----------|--------------------------------------|--|
| 6/30 | 木 | 4 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>終末期における患者・家族への看護援助②<br/>(エンゼルケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴が説明できる</li> <li>・その人らしさを保つエンゼルメイクを実践できる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>動画（看護 roo！動画で分かる看護技術 エンゼルケア：エンゼルメイク）を視聴し、エンゼルメイクの手順をまとめる（60分）</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>終末期における患者・家族へのケア、エンゼルメイクのポイントをまとめる（60分）</p> |
| 6/30 | 木 | 5 | 共通基盤看護学講座 | 三浦 幸枝 教授<br>佐藤 奈美枝 特任准教授<br>伊藤 奈央 講師 | <p>終末期における患者・家族への看護援助②<br/>(エンゼルケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴が説明できる</li> <li>・その人らしさを保つエンゼルメイクを実践できる</li> </ul> <p><b>【事前学修】</b><br/>動画（看護 roo！動画で分かる看護技術 エンゼルケア：エンゼルメイク）を視聴し、エンゼルメイクの手順をまとめる（60分）</p> <p><b>【事後学修】</b><br/>終末期における患者・家族へのケア、エンゼルメイクのポイントをまとめる（60分）</p> |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

|   | 書籍名                                    | 著者名               | 発行所       | 発行年  |
|---|--|-------------------|-----------|------|
| 教 | 成人看護学<br>慢性期看護論 第3版                    | 鈴木志津枝、藤田佐和 編集     | ヌーヴェルヒロカワ | 2014 |
| 教 | 成人看護学①<br>成人看護概論/成人保健<br>第7版           | 黒江ゆり子 編集          | メヂカルフレンド社 | 2021 |
| 教 | ナーシング・グラフィカ<br>成人看護学③<br>セルフマネジメント 第4版 | 安酸史子、鈴木純恵 他<br>編集 | メディカ出版    | 2022 |
| 教 | ナーシング・グラフィカ<br>成人看護学⑥<br>緩和ケア 第3版      | 宮下光令 編集           | メディカ出版    | 2022 |

・成績評価方法

1.定期試験 70% 2.レポート 20% 3.演習への取り組み状況 10%の合計 100%で評価する。なお、演習の取り組み状況は、事前学修を通じた演習の準備性、演習での主体的・積極的態度などで評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

- ・シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し、教科書、「成人看護学概論」「成人看護方法論Ⅰ」等の既習科目の講義資料をもとに予習した上で演習に臨むこと。（各演習については最低 60 分の事前学修を要する）。
- ・成人看護学で学ぶ範囲は広い範囲に及ぶため、病態生理で学んだことを振り返りながら授業に臨むこと。
- ・グループワークでは、自分の考えを整理して相手に伝えることで、他者の考えを知る機会となるため、積極的に参加すること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

- ・演習後のリアクションペーパーを活用することで、次回の演習前にフィードバックする。フィードバックの方法として、質問や疑問については WebClass に解説を掲載する。
- ・課題レポートの提出は、WebClass を活用し、採点後にコメントを付し返却する。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称                                     | 台数 | 使用目的      |
|------|--|----|-----------|
| 講義   | プロジェクター                                      | 1  | 講義用スライド投影 |
| 講義   | 書画カメラ  | 1  | 講義用資料投影   |
| 演習   | 爪切りニッパ <sup>®</sup> -型爪やすりゾンデ <sup>®</sup> 付 | 24 | フットケア演習   |
| 演習   | 人工皮膚パッド <sup>®</sup> シリカゲル注射練習用              | 48 | フットケア演習   |
| 演習   | 打腱器（ハビンスキー式）                                 | 24 | フットケア演習   |
| 演習   | 音叉（ルツェ C 調節子付き 128Hz）                        | 24 | フットケア演習   |